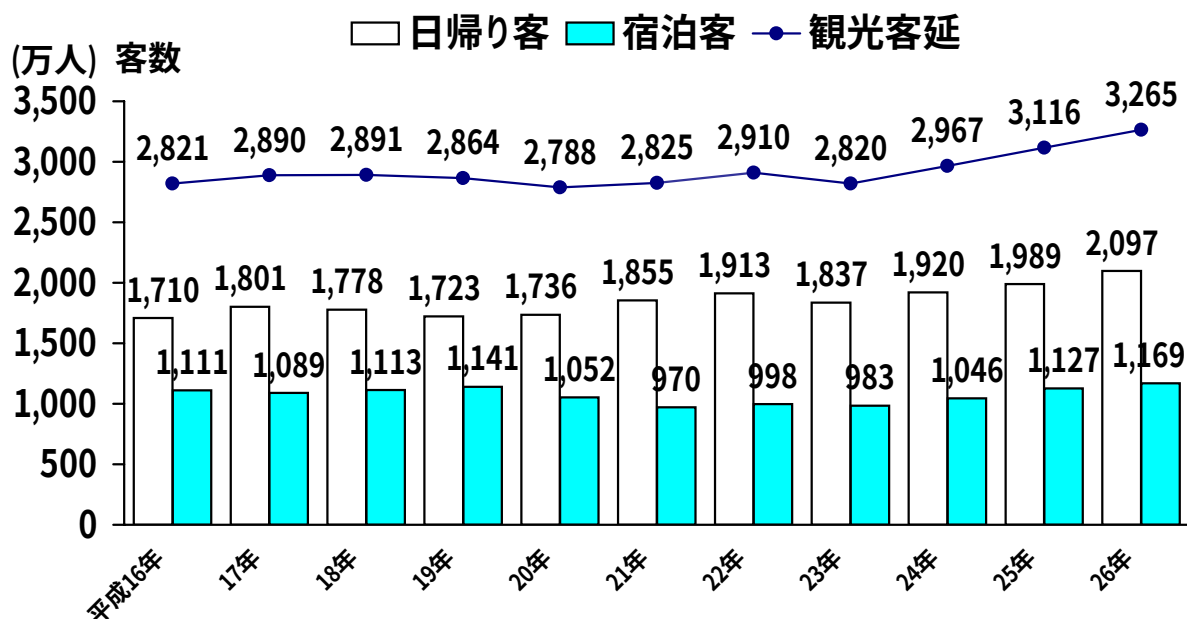


## 年次別観光客推移



(注)一部市町で平成26年から算定方法が変更されたため、平成25年の数値は、同じ方法により再算定を行っている。

平成26年の観光客延べ数は、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の競技が県内各地で開催されたこと、「明治日本の産業革命遺産」、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への注目が高まったこと、ハウステンボスの集客が好調であったこと、平成24年に長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されて以降、夜景観光が好調であったこと、更に外国人観光客が大幅に増加したことなどから、3,265万人(対前年比+4.8%)となり、これまで最多であった平成13年を超え、統計をとりはじめた昭和47年以降、過去最高となった。

日帰り客数は2,097万人(対前年比+5.4%)、宿泊客延べ滞在数は1,169万人(対前年比+3.7%)であり、日帰り客数の増加が観光客延べ数の増加に寄与している。

観光消費額については、観光客の増加により、3,451億円(対前年比+4.4%)となり大幅に増加した。

日帰り客、宿泊客別に観光消費額をみると、日帰り客は1,546億円(対前年+1.3%)、宿泊客は1,905億円(対前年比+7.1%)であり、宿泊客の観光消費額に大幅な増加がみられた。

(県観光振興課)